

FFTA10APR/BPR

(1次元)CCD バーコードリーダー クイックスタートガイド

1.0c 版

はじめに

この度は、(1次元)CCD バーコードリーダー FFTA10APR/BPR をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお取り扱いくださるようお願い致します。
また、本書は、お読みになった後も、必要なときにすぐに見られるよう、大切に保存しておいてください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいて FFTA10APR/BPR を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

著作権について

本書の内容はすべて著作権に保護されています。本書の一部または全部を事前の承諾無く、無断で複製、複製、翻訳、変更することは禁じられています。

商標・登録商標について

Microsoft® Windows®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

日栄インテック株式会社

総合窓口 : info@barcode.ne.jp



ホームページ : www.barcode.ne.jp バーコード・RFID・タブレット情報サイト

営業時間 : 9:00~12:00 13:00~18:00 土日祝 除く

安全上のご注意








ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。



本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。

 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味:

- △記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを示しています。
- ⊘記号は、禁止(してはいけないこと)であることを示しています。
- Ⓞ記号は、必ずして欲しい内容を示しています。

 警告	
重要: システム設計者へ ◆ 薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。	
◆ 次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。 ➢ 煙がでている場合、変なにおいや音がしている場合 ➢ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合 ➢ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合	
◆ 製品を分解したり、改造したりしないでください。 事故や故障の原因になります。	
◆ 湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。 感電の原因となることがあります。	

 注意	
次のようなことは、絶対に行なわないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。 ◆ スキャナ本体やインタフェースケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いものの下敷きにならないようにしてください。 ◆ スキャナ本体をたたいたり落したりして衝撃を与えないでください。 ◆ 不安定な場所に置かないでください。 ◆ インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。	

梱包内容

製品がお手元に届きましたら、すぐに開梱して以下のものが揃っているかご確認ください。
もし、不足・破損などがありましたら、ご購入先の販売店または巻末の弊社窓口までご連絡ください。

- ◆ スキャナ本体(インタフェースケーブル接続済み) 1
- ◆ クイックスタートガイド 1

接続および動作確認

RS-232C インタフェースの接続手順

- (1) スキャナの RS-232C コネクタを、接続機器の RS-232C ポートに接続します。
- (2) スキャナに電源が供給されているか確認してください。
※ 一般に、接続機器がパソコンの場合、RS-232C ポートからは電源供給されません。パソコンの RS-232C ポートに接続して使用する場合は、別途、オプション(別売)の AC アダプタをお買い求めください。
- (3) 電源が供給され、スキャナのブザーが鳴れば、接続完了です。
この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。
※ 設定によっては、2 回目以降の接続では電源投入時の起動ブザー音が鳴動しないことがあります。
- (4) 読取テスト
文字入力できるアプリケーションを起動して、次のテストバーコードを読み取ります。



- (5) カーソルの位置に「12345」と入力されれば読取テストは OK です。接続完了です。
この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

設定手順

- (1) 『開始』バーコードを読み取ります。
ブザーが「プピピピッ」と4音のメロディで鳴り、設定モードに入ったことを知らせます。
設定モードの間は、表示 LED が点滅し続けます。
- (2) 変更したいパラメータの設定バーコードを読み取ります。
ブザーが「プププ」と3回鳴り、設定バーコードを読み取ったことを知らせます。(パラメータによって、ブザーの鳴り方、メロディは異なります。)
- (3) 必要な設定が終わったら、『終了』バーコードを読み取ります。
ブザーが「ピププ、ピーッ」と4音のメロディで鳴り、設定モードが終了したことを知らせます。
- (4) 複数のパラメータを設定する場合は、(1)～(3)を繰り返します。
※ 設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度「出荷時設定」に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。
※ パラメータによっては、複数の設定バーコードを順番に読み取って設定するものがあります。
順番を間違えると、「ププププッ」と短いブザーが4回鳴ります。
※ パラメータによっては、『終了』バーコードが不要で、自動的に設定終了となるものがあります。

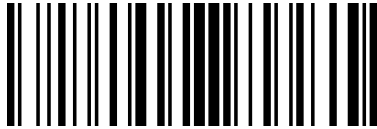
出荷時設定

次のバーコード(1つ)を読み取れば完了となります。

出荷時に下記設定をしてあります。

※ インタフェースケーブルを自動検出するので、インタフェース選択の設定は不要です。

※ この項の設定では、「開始」「終了」バーコードの読み取りは必要ありません。



設定初期化

※ 初期状態での通信設定は下記となります。

データビット	: 8ビット	ボーレート	: 9600 bps
パリティ	: なし (None)	ハンドシェイク	: なし (無手順)
スタートビット	: 1 (固定)		

読取バーコードシンボル体系について

下記バーコードシンボル体系は、初期設定で読取許可に設定されています。

- JAN/EAN-13、JAN/EAN-8、UPC-A、UPC-E
- コード 39
- コード 128 (GS1-128 を含む)
- コーダバー (NW7)
- コード 93

下記バーコードシンボル体系は、初期設定では読取禁止になっていますが、設定を変更することで読取可能になります。弊社ホームページ www.barcode.ne.jp より取扱説明書をダウンロードし、必要なページを印刷してご利用ください。

- JAN/EAN/UPC のアドオンコード
- GS1-DataBar (RSS コード)
- コード 39 のフル ASCII 変換
- インタリーブド 2 オブ 5 (ITF)
- インダストリアル 2 オブ 5
- マトリクス 2 オブ 5
- コード 11
- MSI/Plessey
- TELEPEN



開始

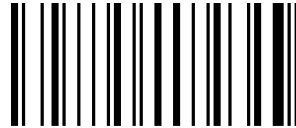
※ 設定バーコードで、下線のついている項目は、上記の出荷時設定を行なったときに設定される項目です。

各種設定

データビット



7ビット



8ビット

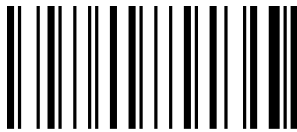
ボーレート



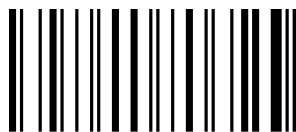
1200 bps



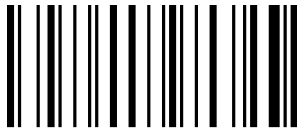
2400 bps



4800 bps



9600 bps



19200 bps



38400 bps

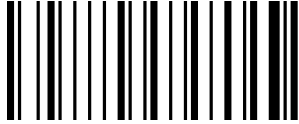


終了

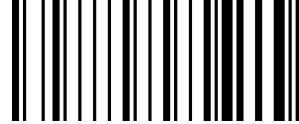


開始

パリティ



奇数 (Odd)

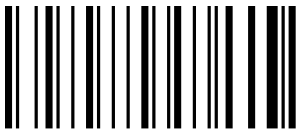


偶数 (Even)

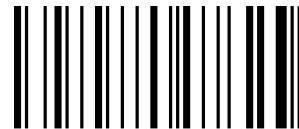


なし (None)

ハンドシェイク



ハードウェア (RTS/CTS)



ソフトウェア (Xon/Xoff)



なし (無手順)



ハードウェア (RTS/CTS)
+ ACK/NAK プロトコル



終了



開始

データサフィックス(データ後付加文字列)の設定

FFTA10APR/BPR では、サフィックスとターミネータとが統合され、ターミネータもサフィックスとして設定します。ここでは、一般的にターミネータとして設定されることが多い代表的なものを記載しています。

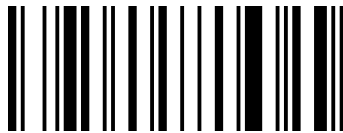
初期値では、「付加しない」が設定されています。

設定手順:

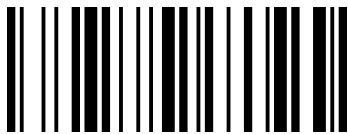
『開始』→『データサフィックスの設定』→サフィックスに設定する文字を選択→『決定』(自動終了)

なお、サフィックスを「付加しない(サフィックス無し)」に設定する場合は、次の順に設定バーコードを読み取ります。

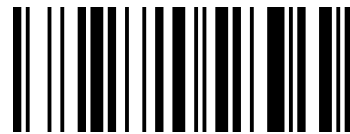
『開始』→『データサフィックスの設定』→『決定』(自動終了)



データサフィックスの設定



Enter



Space



Tab



Esc



右 Ctrl



決定

その他の詳細設定については、弊社ホームページ www.barcode.ne.jp より取扱説明書をダウンロードし、必要なページを印刷してご利用ください。

お問い合わせ

弊社ホームページ お問い合わせ: www.barcode.ne.jp/inquiry よりお問い合わせください

修理を依頼される前に

故障かな?と思ったら:<https://www.barcode.ne.jp/questions/1286.html> にしたがってお調べください。

保証規定

- ・ 本製品の保証期間は、「日栄インテック(株)出荷日から1年(本体のみ。ケーブルは6ヵ月)」とさせていただきます。
 - ・ 保証期間内でも次の場合には有償とさせていただきます。
 - ① お客様または第三者による機器の改造および分解、ユーザーズマニュアル記載外の接続・使用による故障
 - ② お客様の故意過失による故障
 - ③ 製品仕様外の環境下や運用により生じた故障(落下衝撃など)
 - ④ 火災、落雷、水没、地震、その他天災や地変による故障
 - ⑤ 公害、塩害、ガス害(硫黄ガス等)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)等による故障
 - ⑥ シリアル番号(S/N)の確認が出来ない場合
 - ⑦ 使用中に生じた外観上の変化(傷、摩耗、変色、欠け、破損など)
 - ⑧ 納入日、スキャナご利用者様、販売店等に偽りの報告があった場合
 - ・ 購入時点や初回使用時に発生した次の場合で、かつ、日栄インテック(株)出荷日から3ヵ月以内であれば、新品交換にて対応させていただきます。
 - ① 電源が入らない
 - ② 動作しない
 - ③ バーコードを読み取らない
 - ④ データが出力されない
 - ⑤ 筐体の傷や汚れ
 - ・ センドバック方式(商品の発送は、元払い)
 - ・ 保証期間内に故障が発生した場合は、新品交換、または、無償修理か、製品を確認させていただき判断・対応させていただきます。
 - ・ 修理を依頼されるときは、お買い上げの販売代理店、または、商流にのっつてご依頼ください。
 - ・ 保証期間終了後は、修理すれば使用できる場合は、ご希望により有償にて修理させていただきます。
 - ・ 保守用部材の保有期間は、製造打ち切り後3年保有します。
- ※ 本書は日本国内においてのみ有効です
- ※ お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内外の修理対応及びその後の安全点検活動・製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。